

地方創生先行型事業評価シート

1.基本項目

事業名	西東京市の新たな魅力発信事業		事業No.	2		
総合戦略の位置付け	基本目標	まちを楽しみ、まちの良さを高める		所管課名	図書館	
	施策	いいね！と評価できる魅力づくりと情報発信		実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他	
事業目的	西東京市に縁のある文化人等をまとめた冊子を作成し、市内外に向けて情報発信することで、新たな発見とともに、地域の魅力の向上を図り、郷土西東京市への関心を高めることを目的とする。					
事業内容 実施方法	<p>(1)【文化人冊子の作成】(事業説明資料:P5) 市の歴史に親しみ、郷土への愛着の醸成を図るため、西東京市に関わりのある人物を紹介する冊子、『縁(ゆかり)～西東京市ゆかりの文化人を紹介～』を作成した。 本誌には、40周年を迎える図書館が開館以来、収集・保存してきた著作物の作者やスポーツ選手等の文化人の方で、市内で生まれた方、幼少期を過ごされた方、現在もお住まいの方等を紹介している。 また、冊子の作成に併せて、文化人の著作物および関連資料の館内展示や図書館ホームページ内に「西東京市縁(ゆかり)の方の紹介」コーナーを新設し、広くPRに努めている。</p> <p>(2)【講演会の開催】(事業説明資料:P5～6) 冊子発行に併せてインタビュー取材記事を掲載する文化人を講師に招き、4回の講演会及び作品展を実施した。 ①第1弾「夢に向かってワールドカップと私」、②第2弾「武田信玄の姫君二人と保科正之～『疾風に折れぬ花あり』より～」、③第3弾「日本にやって来たモーツァルト～日本のモーツァルト百面相を語る～」、④第4弾「作家と実作品を前にその世界を楽しむ～鑑賞する・堪能する・探る～」</p>					
事業費 (単位:千円)			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費		4,331	-	-	-
	財源 内訳	交付金	4,000	-	-	-
		地方債	0	-	-	-
		その他	0	-	-	-
一般財源		331	-	-	-	

2.重要業績評価指標

評価指標名		評価指標値	実績値
1	紹介冊子発行部数	3,000部	2,000部
評価指標の考え方		まちの魅力を伝えるには共感いただける人を増やすことが必要である。そのため、活動するNPO数の多さという本市の特徴を活かした普及啓発による効果を期待し、魅力を伝える手段となる冊子の発行を評価指標とした。	
評価指標名		評価指標値	実績値
2	講演会参加人数	500人	409人
評価指標の考え方		まちの魅力を伝えるには共感いただける人を増やすことが必要である。講演会は直接的に市の魅力を伝える機会であり、その後の普及啓発の効果も期待できることから講演会への参加者数を評価指標とした。	

3.評価

検証項目		ランク	評価	評価説明・判断理由
A	事業の優先度	1	<input type="checkbox"/> 事業が効果的であったことから取り組みの追加等、更に発展させる <input type="checkbox"/> 事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った) <input type="checkbox"/> 特に見直しをせず事業を継続する <input type="checkbox"/> 継続的な事業実施を予定していたが中止した <input checked="" type="checkbox"/> 当初予定通り事業を終了した	本事業の実施に当たっては、市民、報道機関等からの問合せが多く、講演会・作品展への参加者も多数となった。市民からは西東京市にこのような文化人が存在することへの驚き、喜び、誇りを感じる等の声があった。また、著作物の問い合わせ、冊子掲載者以外の文化人情報の提供、自身の著作物を寄贈される方等も増えている。これらの事から、郷土西東京市への関心を高めるための情報発信という所期の目的は十分達成できたと考えている。今後は、発行した冊子の効果的な活用を進めるとともに、図書館ホームページをはじめとして、更なる情報の収集と発信に努めていきたい。
	事業の必要性	1		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方	3		
	事業内容の適切さ	1		
C	受益者負担の適切さ	3		
D	市民ニーズの把握	2		
E	事業の効果	2		
	成果指標の適切さ	2		
	計画に対する貢献度	3		

総合評価	A : 達成 B : おおむね達成 C : 未達成
	本事業は、総合戦略の基本目標である「まちを楽しみ、まちの良さを高める」を推進するための、郷土への関心を高める事業となっている。実績値は冊子内容の充実により目標値を下回ったが、事業全体を通じて郷土愛の向上が期待できる。特に、文化人冊子は報道機関や市民からの反響も大きく、本市への誇りや愛着の醸成に寄与している。今後は、冊子の効果的な活用について検討するとともに、周知や配布方法等の工夫をされたい。 なお、今後の成果指標の設定においては、上位目標で掲げている施策との関連性を明確にすることや、地方創生、地域経済の活性化などにおける具体的な数値の設定に留意し、更なる検証を進められたい。